

MANICAエクセルツール

MANICA Excel Tool

ターゲット業界
(ユーザ業界)

レンタル業
松竹衣装株式会社

用途

物品管理

MANICA エクセルツールを採用した決め手は、使い慣れたExcelからICタグのスクャナーを制御できることでした。

自社がこれまで作成してきたExcelベースの管理台帳を、ほぼそのまま活用できることや、これまで手作業で更新を行っていた貸出／返却の実績登録を、ICタグの読み取りにより自動化できるのは自社の要求に限りなくフィットするものと考えられました。

ICタグへの期待と懸念事項

そんな中、アイテム現物の確認や探索／棚卸などの検品業務を省力化する技術として、以前からICタグに注目をしていました。もし、すべてのアイテムにICタグが取り付けられていれば、電波を照射するだけで、どこに何が何個あるか、自動的な検品が実現される。これにより、貸出／返却時の実績登録や、棚卸、探索業務を正確にスピーディに行うことができそうだ、ということろまでは、検討の早い段階でイメージができていました。

そこで、いざICタグを使ってみようと色々しらべてみたところ、一般的なICタグは某アパレル量販店で利用されているようなシールタイプが多く、貸出の都度クリーニングを行う必要のある自社保有アイテムの管理には、不向きなのではという懸念が出てきました。

また、ICタグとスクャナーの他に、専用の管理システムが必要な点についても、どこまでの機能が必要なのか、どれぐらいの費用が適切なのか、ICタグを利用したことのない状態からでは、なかなか見当がつかない状態でした。

MANICA Excel Tool／ハヤト・インフォメーションへの期待

RFID業界の複数社に相談を持ちかけてみた中で、ハヤト・インフォメーションのMANICA Excel Toolが、自社のニーズに近いソリューションであることが分かってきました。

導入時の苦労話

検品台方式で貸出／返却を行う際に、ICタグの読み取り性能をいかに抑えるか、という点で苦労が有りました。通常は読み落としによる登録漏れが懸念されるICタグですが、最近では通信性能も向上しているために、読みすぎる問題が発生しました。具体的には貸出登録時に、持ち出すつもりが無い近接するアイテムのICタグを読み取ってしまうなどの現象です。

スクャナーの出力を下げるなどの対策でも対応しきれず、最終的には自社で専用の遮蔽ボックスを作成しました。貸出／返却登録時には、このボックスの中に対象アイテムを入れることで、周囲の不要なタグを読み取ることなく、スムーズな実績登録を行うことができました。



葛西倉庫のストックエリア



専用遮蔽ボックス

出展社名：

株式会社ハヤト・インフォメーション

小間番号：

24